



WORLD FEDERATION OF HEMOPHILIA
FÉDÉRATION MONDIALE DE L'HÉMOPHILIE
FEDERACIÓN MUNDIAL DE HEMOFILIA

凝固因子製剤の国家入札制度のメリット

国家入札制度とは

国ごとの国家入札制度は、凝固因子製剤等の製品やサービスを購入するコスト効率の高い制度です。各団体や各病院がそれぞれの供給分を購入する代わりに、政府が国家の必要量を購入します。この制度では大量の購入とメーカーに対する競争入札要請をもとに、コスト削減を実現します。供給業者に応札を呼びかけ、それぞれの入札価格はあらかじめ定義された条件(安全性、有効性、コスト等)に基づいて評価されます。この条件を最もよく満たした入札者に契約権が付与されます。

凝固因子濃縮製剤購入に対する国家入札制度には多くのメリットがあります。

政府側のメリット

- 血友病は治療に比較的成本がかかる病態です。国家入札制度では、個々の病院や国内の地域ごとで購入する少量と比べて、大量の製品を購入するため、コスト効率を高くすることができます。
- 全国レベルで需要や使用量の予測が可能となり、凝固因子補充療法を提供するための国家予算を立てることが可能となります。
- 実際に必要な量が契約量を超えたり少なくなったりした場合のことを考えて、供給量の変動幅を契約に入れることが可能なため、緊急時対応計画が可能になります。

患者や臨床医のメリット

- 入札手順を踏むことで、全国でより均一で高水準な治療を取り入れる方向へ導くことができます。主要な臨床医らや、患者団体が関与する包括的入札制度であれば、すべての血友病患者やその他の遺伝性出血性疾患患者に使われる最も安全で最も有効な製品を確実に購入するために必要な専門知識が入札の際に提供されることとなります。
- これにより、凝固因子補充療法における使用量を経済性も加味した上で計画的に、最適な治療水準まで増加させることが可能となります。
- 製品不足が起こった場合でも、指定企業から大量の凝固因子製剤を購入する契約が成立しているため、製品供給が確保されるというメリットがあります。

効果的な入札プロセスの意味すること

- 臨床医らに加えて血友病団体や規制当局が入札プロセスに関与することにより、適切な範囲の専門的知見が共有されます。様々な構成員の知恵を結集することにより、個人や臨床医、病院、保険会社がそれぞれ各自で通常おこなっている意思決定よりも、安全性、有効性、供給条件に関するより優れた格要件条項より優れた分析を可能にし、より優れた意思決定を行なうことが出来ます。
- このようなプロセスを経ることで、同じ期間中に収集した比較データや業者との会合をもとにして、製品群のより良い適切な評価が可能となります。